

# 新入学生への導入教育 スタディスキルズ

2008年7月

高知工科大学 教育講師室長

丹羽 昭男



高知工科大学  
KOCHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

1

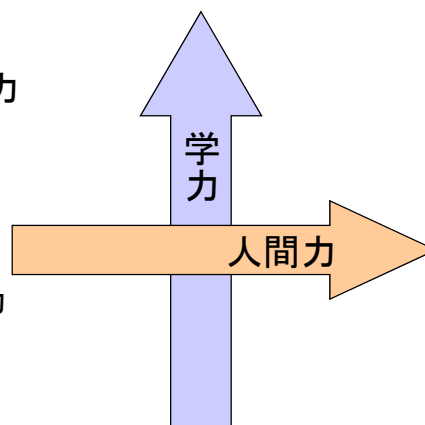
## 導入教育の必要性

- 大学の学習方法は、高校までとは大きく異なる
  - 自律的に意欲を持って取り組むことが前提
    - 自分で考え、自分で決めてゆく
  - 宿題、レポートを期限通り確実に提出
  - メモを取って集中し、復習もする
  - 多様な解答(答えは一つではない)
    - 柔軟な思考
  - 学習結果の報告・発表のスキルが必要
- 学習スキルを系統的に教える必要がある

2

## 学力と人間力

- 学力
  - 専門分野を極める力
- 人間力
  - 生き抜く力
  - 人と付き合う力
    - コミュニケーション力
  - 成し遂げる力
    - 困難を克服する力



3

## 大学で学修するために必要なスキルの例

- 授業に必ず出席する
- 宿題を期限どおり提出する
- メモを取る
- 正解のない答を導き出す
- 分かりやすい文章を書く
- 学習成果を発表しアピールする
- 教員や仲間の話を注意深く聴く
- 適切に質問する
- .....

4

## 社会へ出て行くために必要なスキルの例

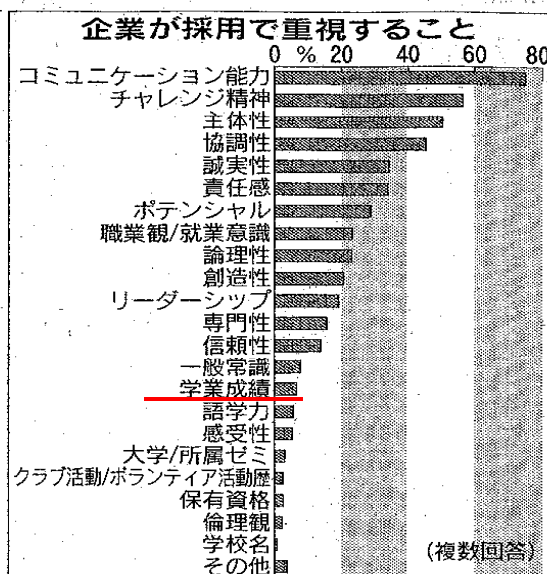
- 社会からの要請
  - 昔に比べ、完成されたレベルを期待する傾向がある
  - 学力だけでなく、人間力を重視する傾向にある
- 要求されるスキル
  - コミュニケーション能力
    - 相手に自分を理解させる
    - 自分も相手を理解する
  - 困難に打ち勝って問題を解決する力
  - したたかに生き抜く力
- 現状のレベル
  - 高校教育まででは習得は不十分と感じている
- 入学時→卒業 までのギャップが大きい

5

## 社会に望まれる人材

- 日本経団連のアンケート  
(2,087社回答)

日経2005.2.5



## 1年生に多い傾向

### ● 良いところ

- まじめ
  - 大半の学生はきちんと出席している
- 素直→指示すると守る

### ● 苦手なところ

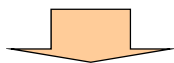
- 文章が書けない、適切な漢字が書けない
- 敬語が使えない
- 新聞を読まない→社会の動きを知らない
- 指示しないと動かない
- リーダーシップが取れない
- ➡ これらを早期に改善してゆく必要がある

7

## どのように教えるか

### ● 従来は専門教育の中で指導

- それだけでは不足する



### ● 導入教育を専門に行う教員を採用

- 長年実務に携わってきた社会のベテランが担当
- 教育講師11名
- 学生を育てることに熱い気持ち

### ● 演習を主体とする



### ● スタディ・スキルズという科目を新設

8

## スタディスキルズ:具体的な方法

- 演習を通して実践的に体験させる
- 10名程度の少人数セミナー形式
- 演習テーマの選定
  - 8回程度で達成感が得られるテーマ
  - 各教育講師が社会で経験した実践的なテーマ
- 毎回宿題を出す
- 最後に詳細なレポートを作成させる
- みんなの前で発表する

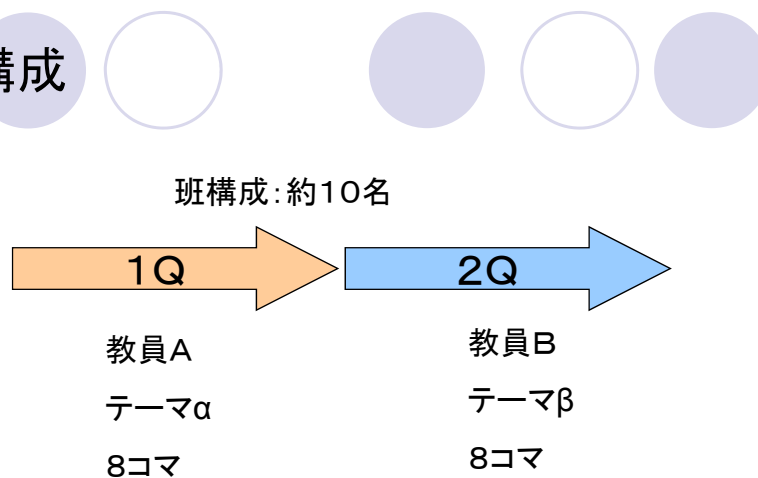
9

## スタディスキルズ:いろいろな取り組みの一例

- 社会で通用する文章を書かせる演習
  - お世話になった高等学校の先生に挨拶の葉書を書かせる
  - 言葉遣い、季節の挨拶、お世話になったお礼、先方が期待している内容を考え適切な言葉で表現
  - 何度も教員が指導添削し、実際に投函してお届けする
- 成果の発表
  - わかりやすく、説得力のあるプレゼンテーション

10

## 班構成



- 1Qと2Qで教員、テーマを変える
- 学生の班構成は同じ

11

## 教育講師の紹介



12

# 授業風景



13

# 授業風景(2)



14

## 授業風景(3)



15

## 受講学生の感想

- 人前で喋れるようになった
- 基礎的なスキルが付いたと実感
- 社会への関心が出てきた
  
- 受講した2～4年生にアンケートをした
  - 2/3を越える学生が役立っていると答えている

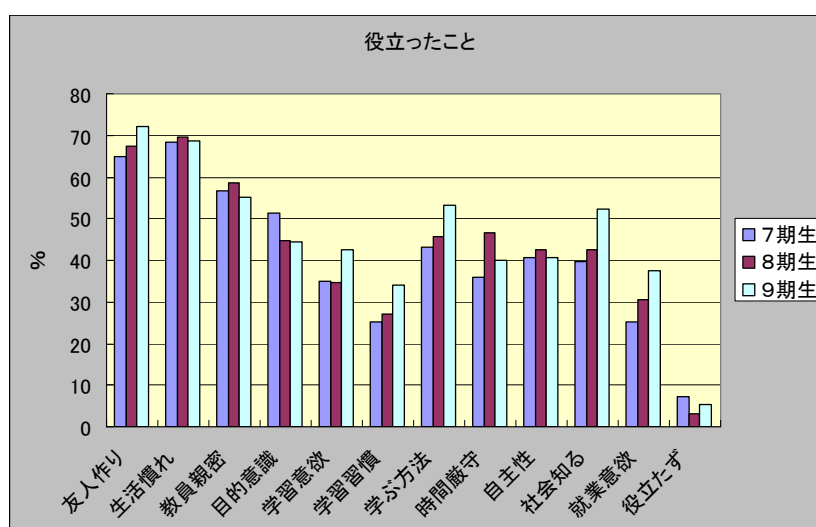
16

## 他校の取り組み

- 初年次教育学会が発足(2008年3月)
  - 大学における“初年次教育”の重要性と課題の認識、そして組織的な対応については、1970年代末よりアメリカの高等教育機関においてその取り組みが始まり、その後世界的な広がりを見せて、日本においてもいくつかの大学での実践や、関連学会などでの議論が活発に行われるようになってきています。(初年次教育学会Webより)
- 他校での取組との比較
  - 歴史と内容において、先行していると自負している

17

## 今までの受講生の評価(1)



## その他

- 文部科学省からも高く評価  
→GP(グッド・プラクティス)
- 今後も研鑽に務め、よりよい初年次教育を確立したい
- 教育講師はサポート係
  - 卒業まで、専門教育以外の分野でサポート
  - 何でもご相談下さい

19